

# 病院指標

## ★病院指標とは？

病院の様々な機能を適切な指標を用いて表したものです。これを分析し、その改善を促すことにより医療サービスの質の向上を図ります。

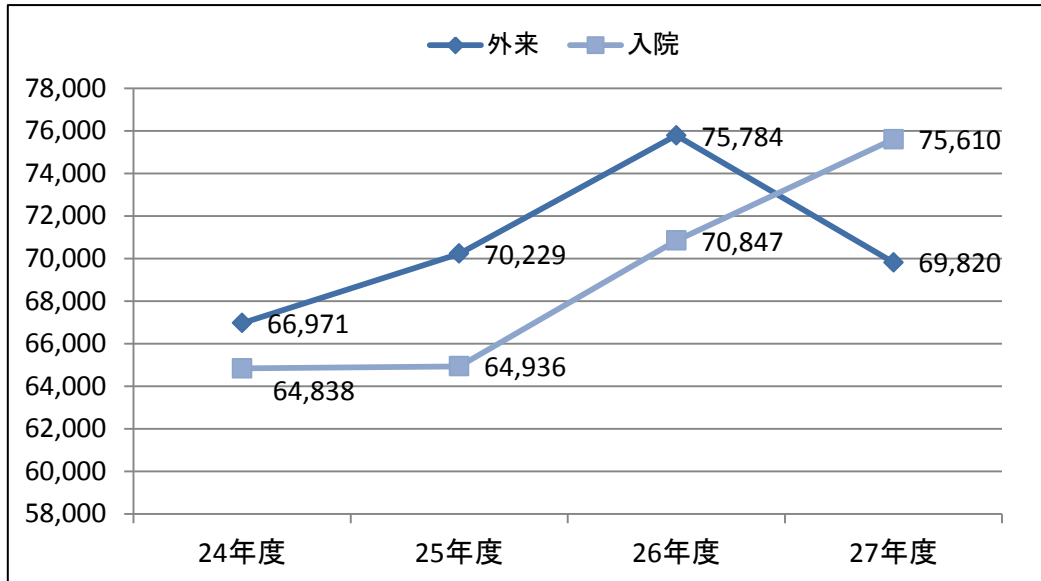
以下の項目について、平成25～27年度の指標をグラフ化し掲示します。

- 1) 病院全体
- 2) 医療安全
- 3) 検査
- 4) 治療・手術
- 5) 診療プロセスとアウトカム
- 6) 医療相談
- 7) 薬剤
- 8) 栄養管理
- 9) リハビリテーション

# 1) 病院全体

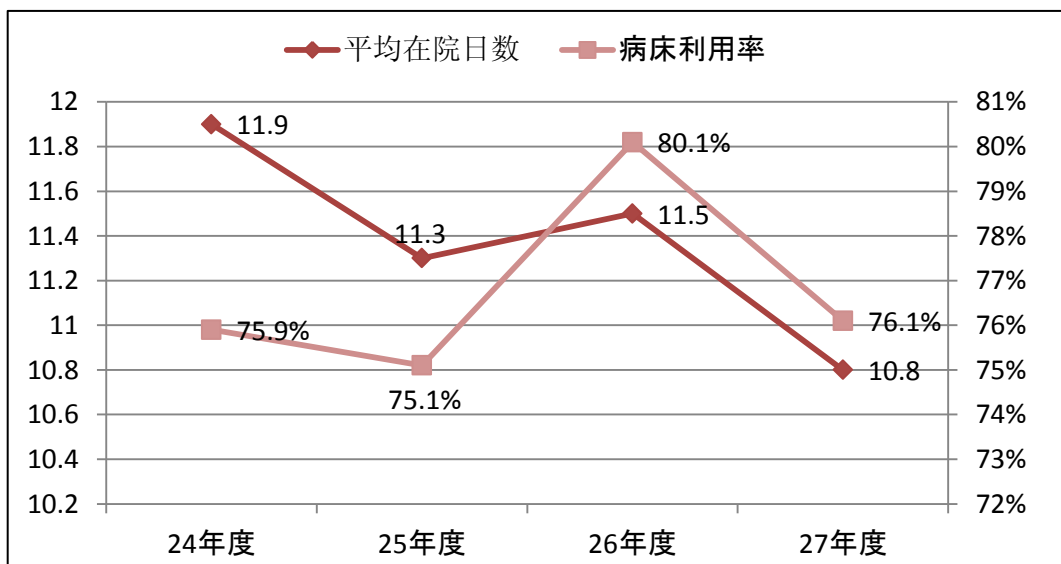
## ①年間外来・入院患者数

入院患者数は24時現在の在院患者数に、その日の退院患者数を加えた数です。



## ②病床利用率、平均在院日数

病床利用率と平均在院日数は、病院の経営管理状態を示す指標の1つです。病床利用率は入院ベッドの利用される割合を示し、平均在院日数とは入院された患者の平均入院日数を示します。

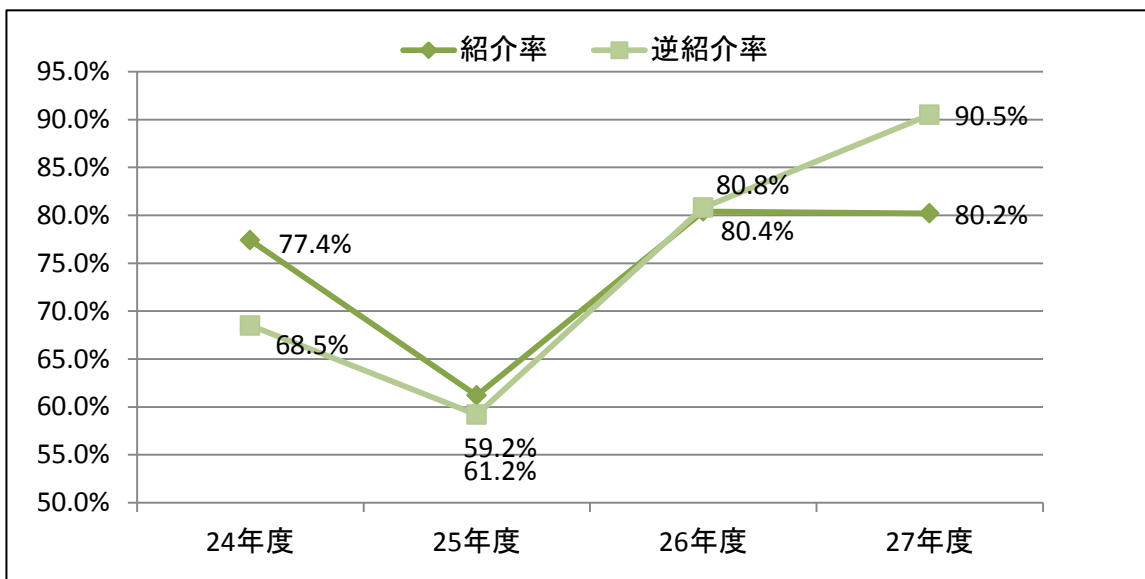


### ③紹介・逆紹介率

紹介率とは開業医や他の病院からの紹介で受診された患者様の割合、逆紹介率とは当院から開業医や病院へ紹介した割合です。

地域完結型の医療を推進するために地域の中で役割分担を進めて、施設同士の連携を密にする必要があります。

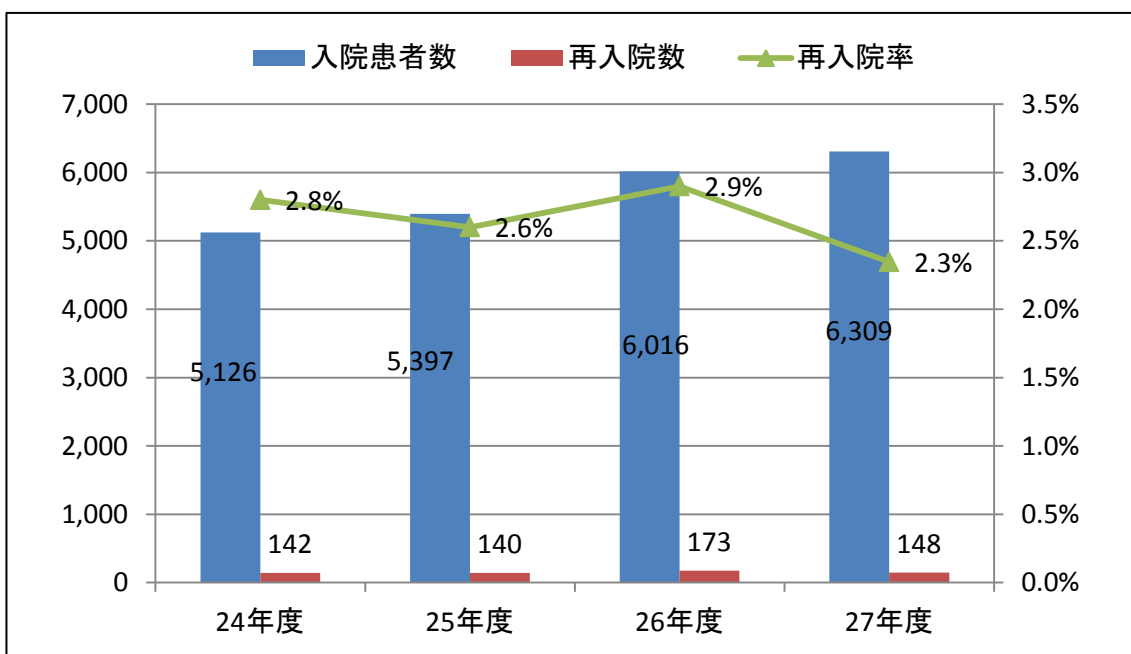
紹介・逆紹介率は「どれくらい他施設と連携できているか」を示す指標となります。



### ④退院後6週間以内、同一疾患予定外再入院率

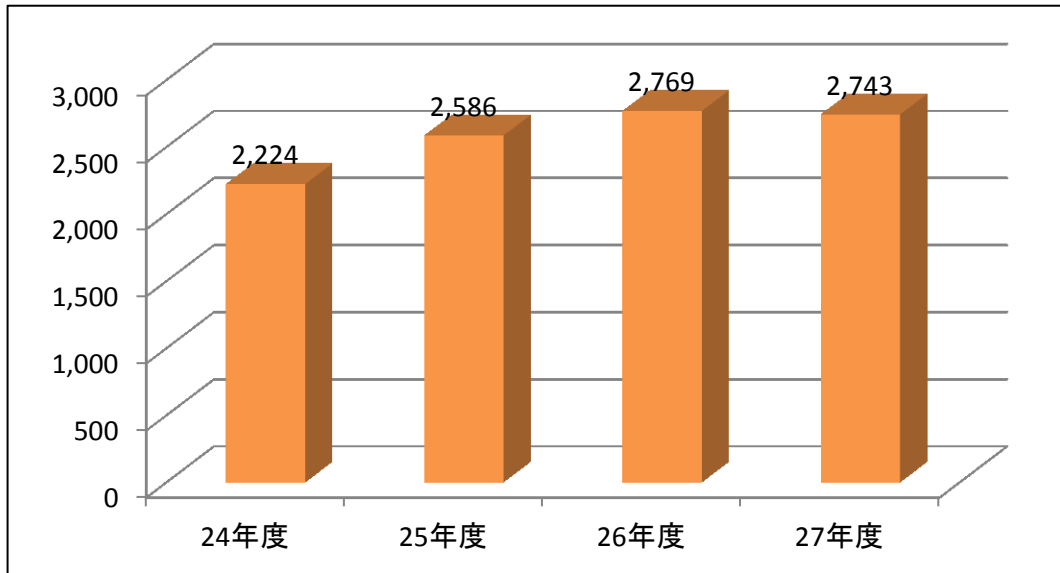
短期間での再入院率は医療の質を示す指標の1つと考えられています。

患者様が自主的に退院される場合や疾病によって違いはありますが、緊急入院率が高いほど医療の質は下がります。



## ⑤救急車搬入件数

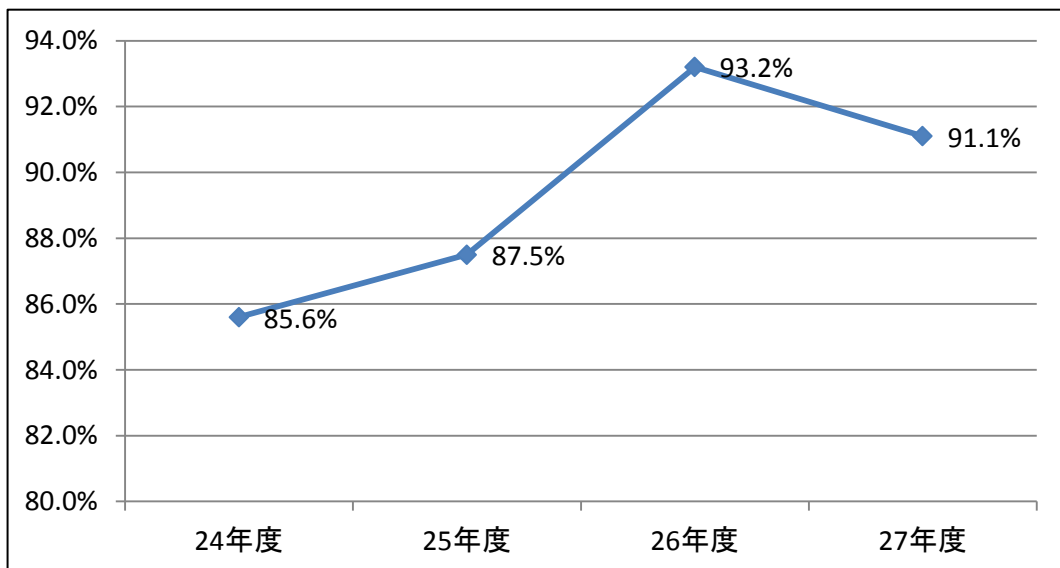
当院は地域中核病院として、災害医療を含めた救急医療の拠点として重要な役割を担っています。その指標となる救急車搬入件数を示します。



## ⑥退院サマリ期限内作成率

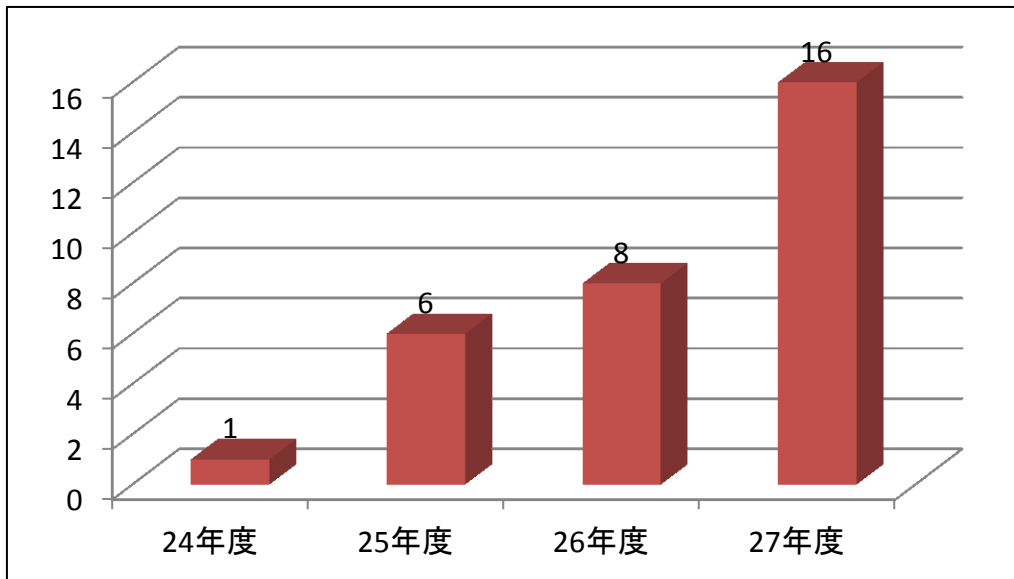
退院サマリとは患者様の病歴や入院時の身体所見、検査所見など医療内容についてまとめた記録（要約書）です。

そのため、一定期間内に退院サマリーを作成することが重要です。



## ⑦カルテ開示件数

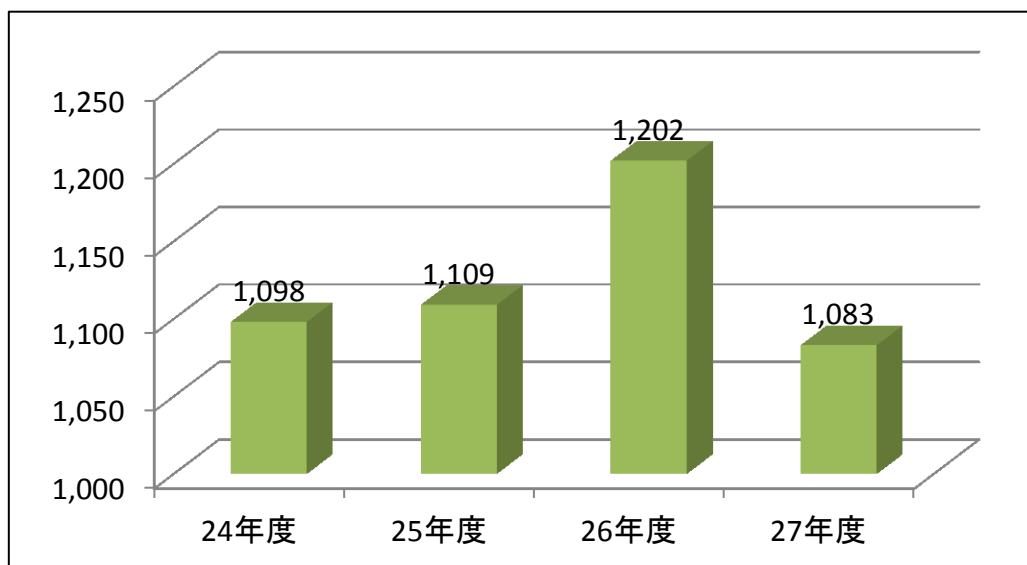
当院では患者様と情報を共有することで、より質の高い医療を実現することを目的として、カルテ開示に積極的に取り組んでおります。



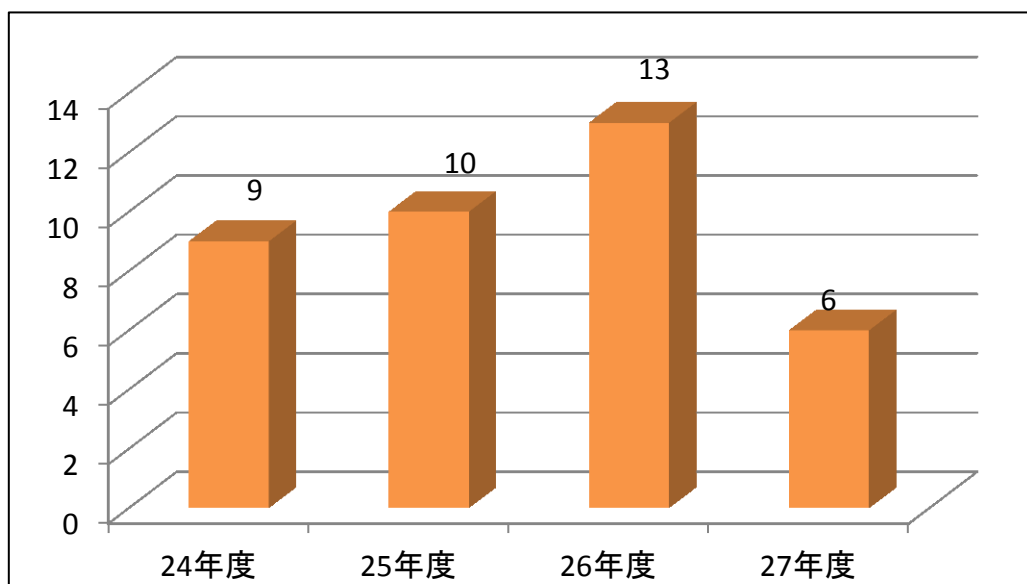
## 2) 医療安全

### ① インシデント件数（医療事故までに至らなかった事例）

医療事故を予防する方法として、アクシデント手前のインシデントを多数集めて分析し対策を立てます。そして、その対策を職員が実行し医療事故を予防しています。



### ② アクシデント件数（医療事故件数）

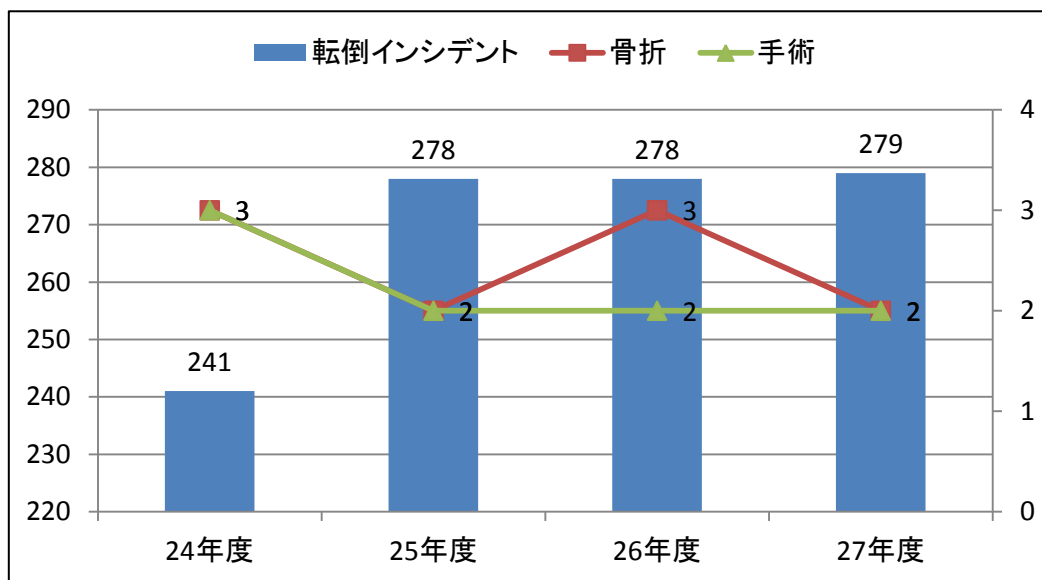


### ③転倒インシデント報告と骨折・手術件数

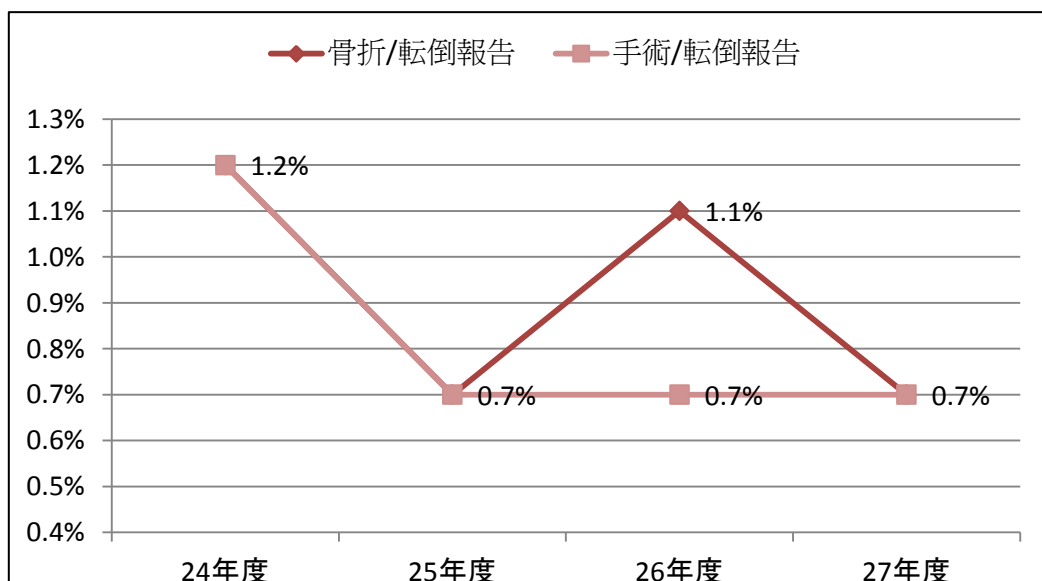
歩行困難な方や高齢者の多い病院など、病院機能によって発生比率も違いがあり職員が予防に全力を尽くしても、危険因子を多く持つ患者様においては予防が困難な場合があります。

転倒が発生した場合は、医療安全管理室で事例検証し具体的な対策に結びつけています。

転倒を100%防ぐことは困難ですが、予防的な取り組みを積極的に行うことで発生を最小限にとどめるよう取り組んでいます。



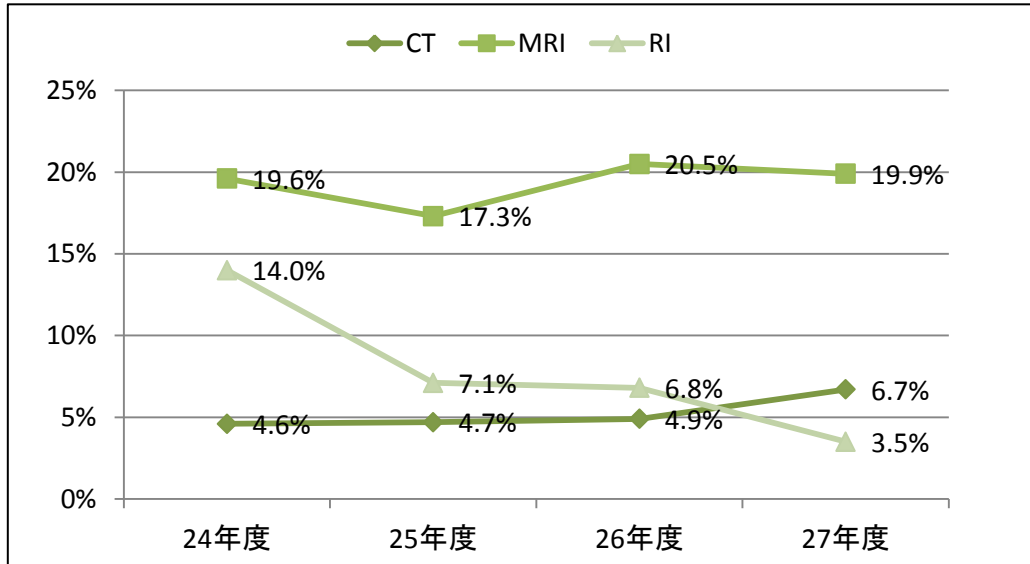
### ④転倒による骨折・手術割合



### 3) 検査

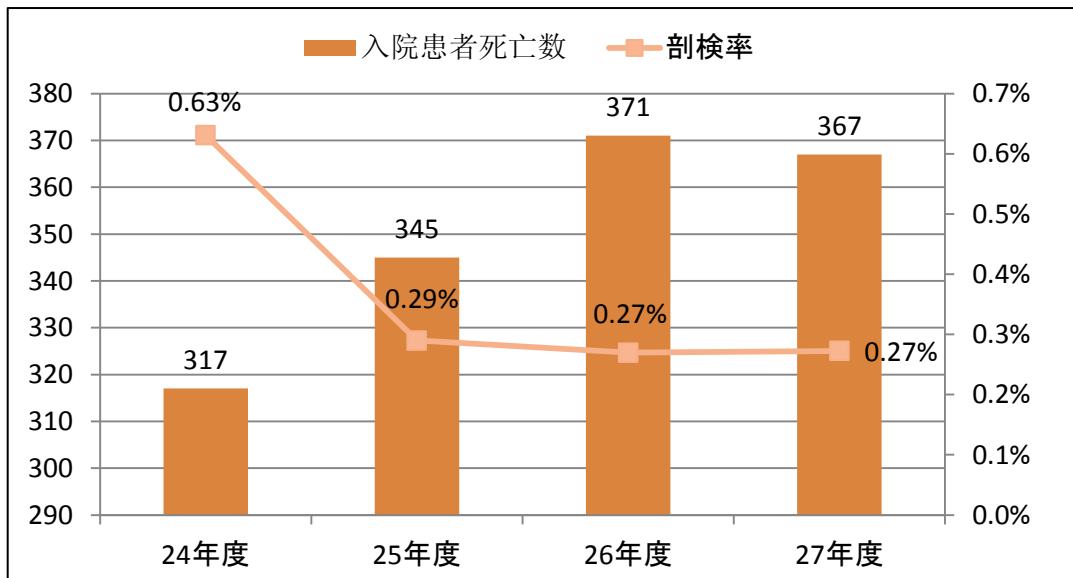
#### ①CT・MRI・RI撮影共同利用率

地域医療を担う当院では、他院からの検査依頼の状況が地域医療機関から信頼されている度合いの1つの指標になります。



#### ②剖検率

剖検率とは、入院中に死亡された患者数に対して、病理解剖をされた患者数の割合をいいます。病理解剖の目的は、死因や病気の成り立ちを解明することですが近年、死亡時画像診断（AI）などにより全国的にも剖検率は減少傾向です。

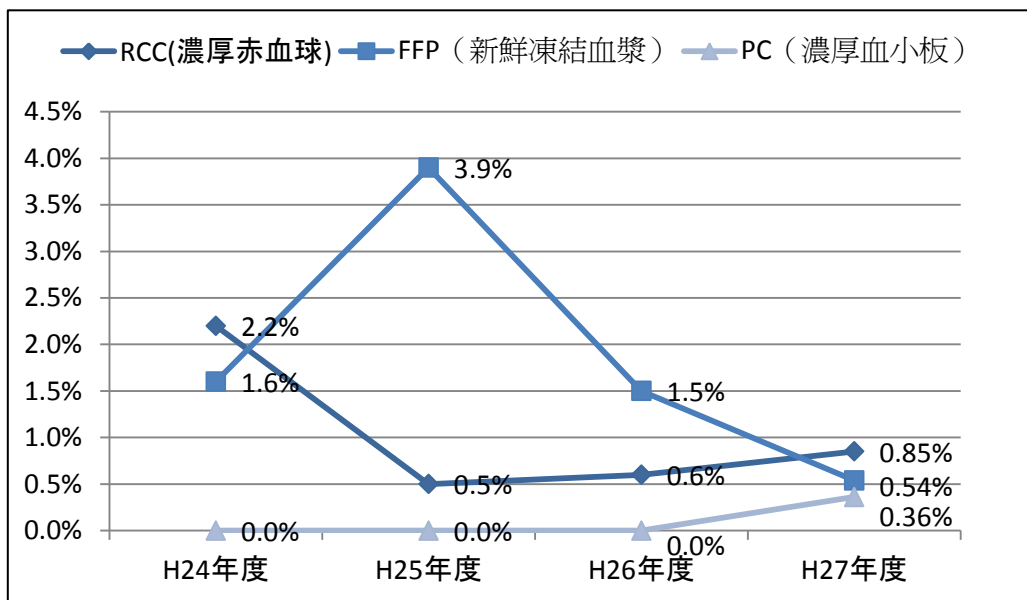




### ③輸血廃棄率

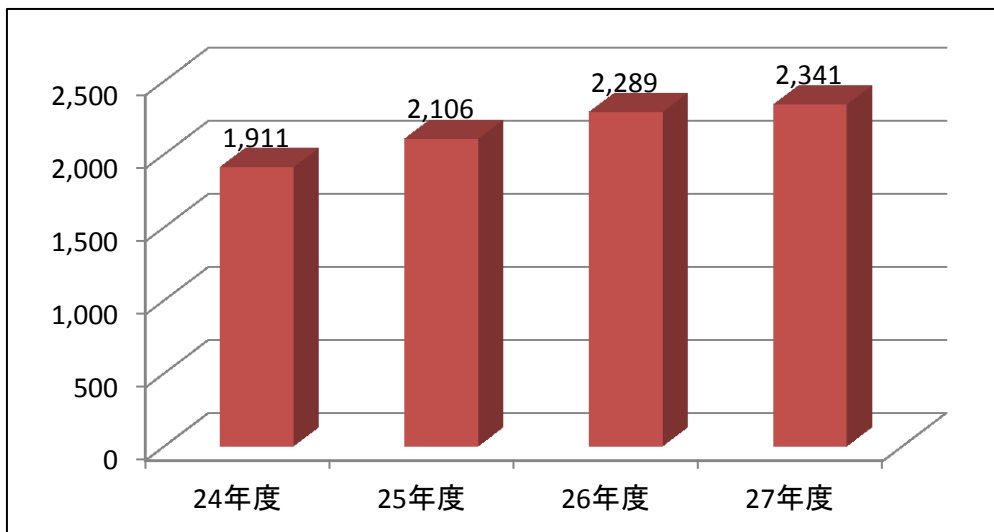
我が国の輸血製剤は全て献血で作られている為、廃棄する事なく適切に使用する必要があります。

輸血製剤の廃棄率は、病院での効率的治療の目安となります。



## 4) 治療・手術

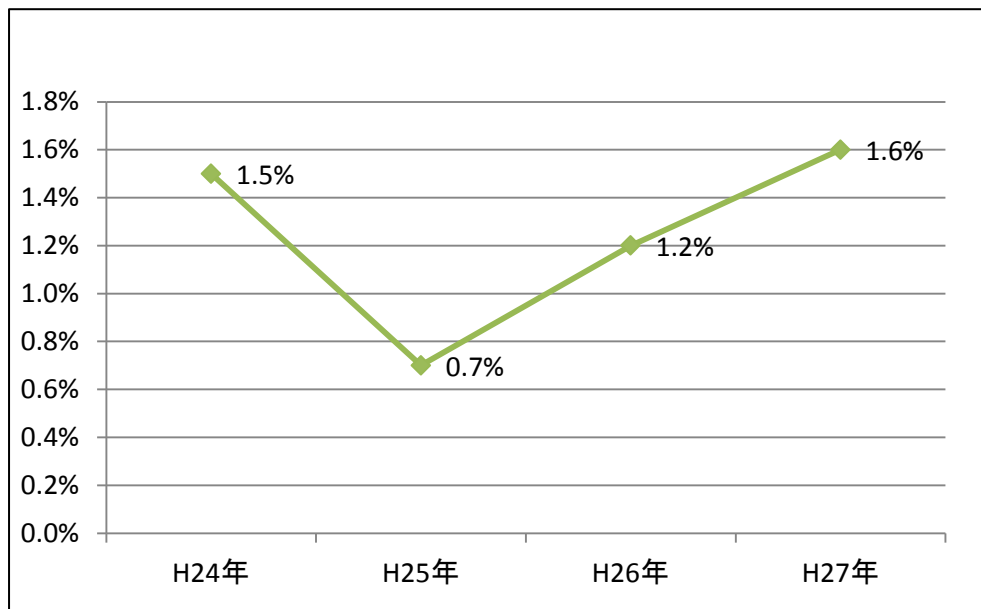
### ①手術実施件数（手術室のみ）



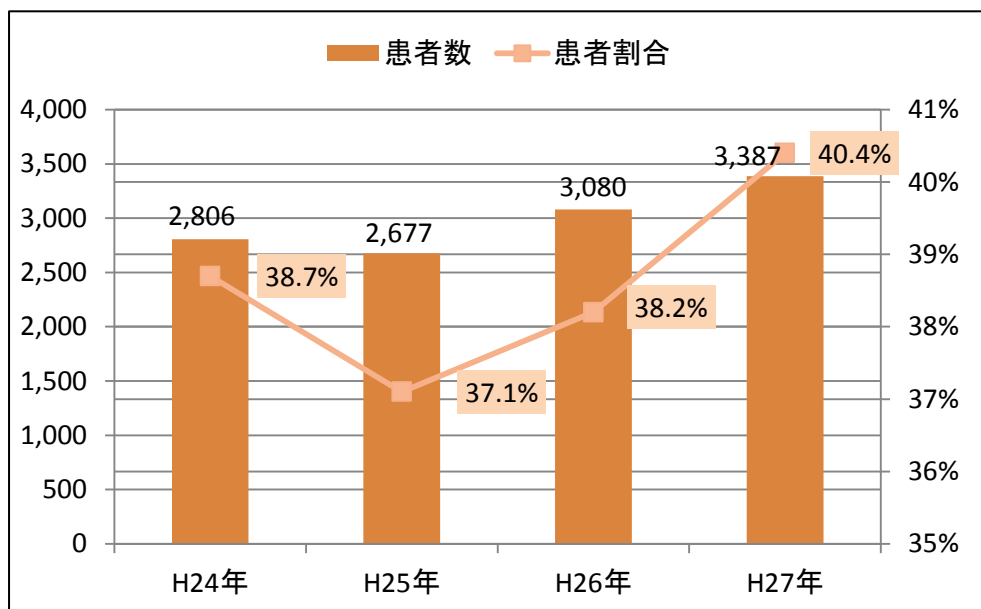
## 5) 診療プロセスとアウトカム

### ①褥瘡発生率

褥瘡の発生率は全身管理や局所の世話など、看護の質を表す指標となります。



### ②褥瘡ハイリスク患者数・割合

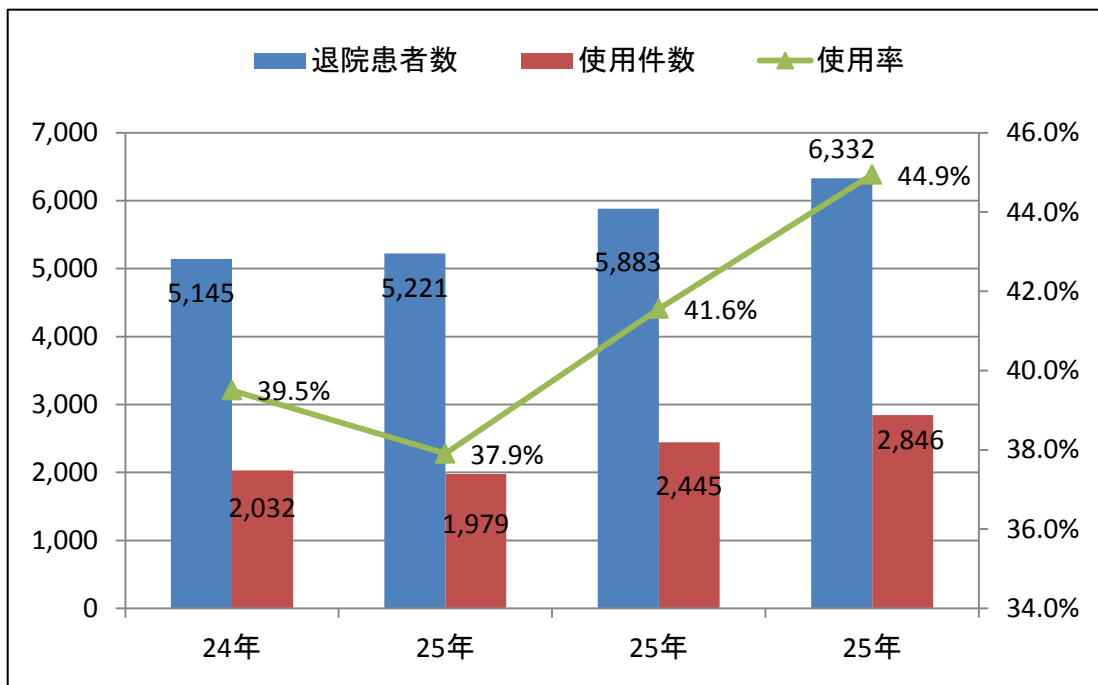


### ③クリティカルパス使用件数

クリティカルパスとは、医療スタッフと患者様が治療経過の情報を共有するため、治療や検査等の予定を時間軸に沿ってまとめた診療スケジュール表です。事前に詳しい予定を立てておくことで治療の効率化が実現でき、更に患者様に明確な診療情報を提供することにもなります。

クリティカルパスは使用することで医療の標準化が図られ、効率的で安全な医療の提供に欠かせないツールとなっています。

パスの使用数や使用頻度は、病院全体のチーム医療の成熟度や根拠に基づいた医療をいかに実践しているかを表す指標と言えます。

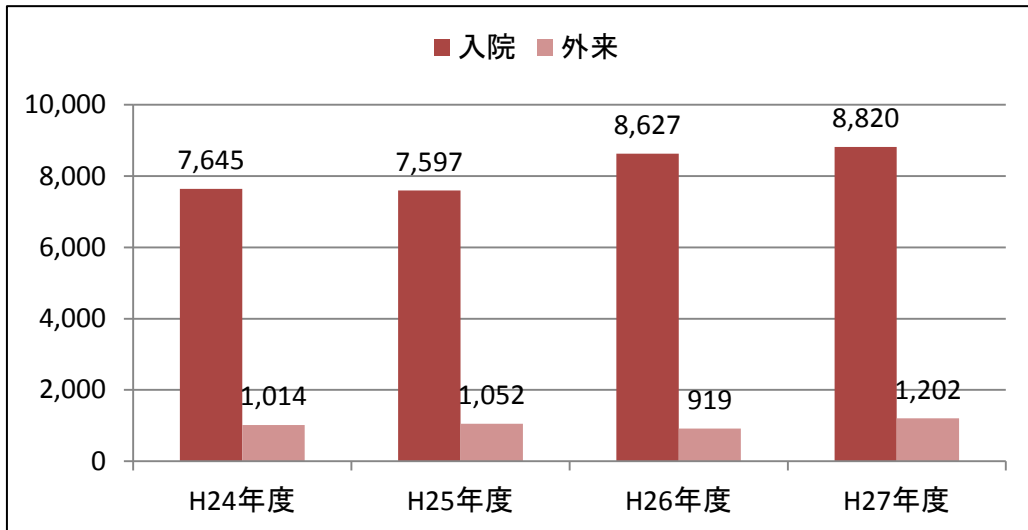


## 6) 医療相談

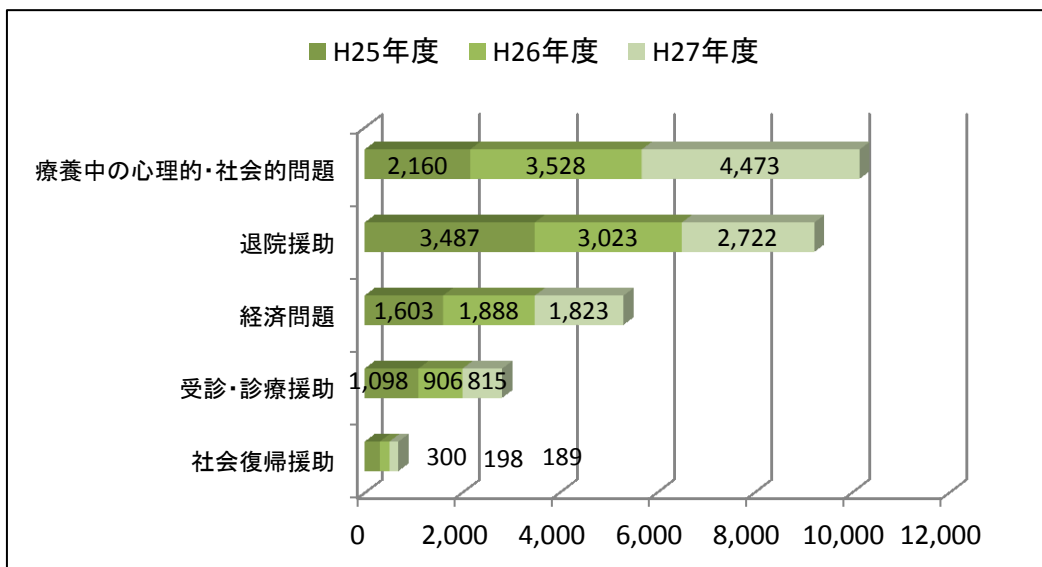
患者様の治療の妨げとなる問題を解決し、安心して療養できる環境を整えます。

また、急性期医療機関としての役割を果たすことができるよう地域の医療機関との連携窓口として活動しています。

### ①医療相談件数



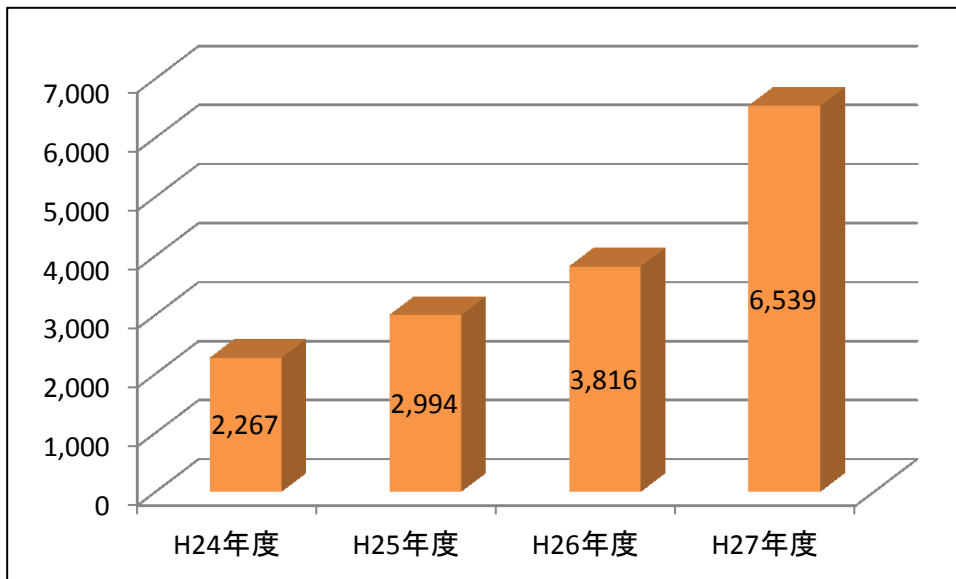
### ②医療相談内容別件数



# 7) 薬剤

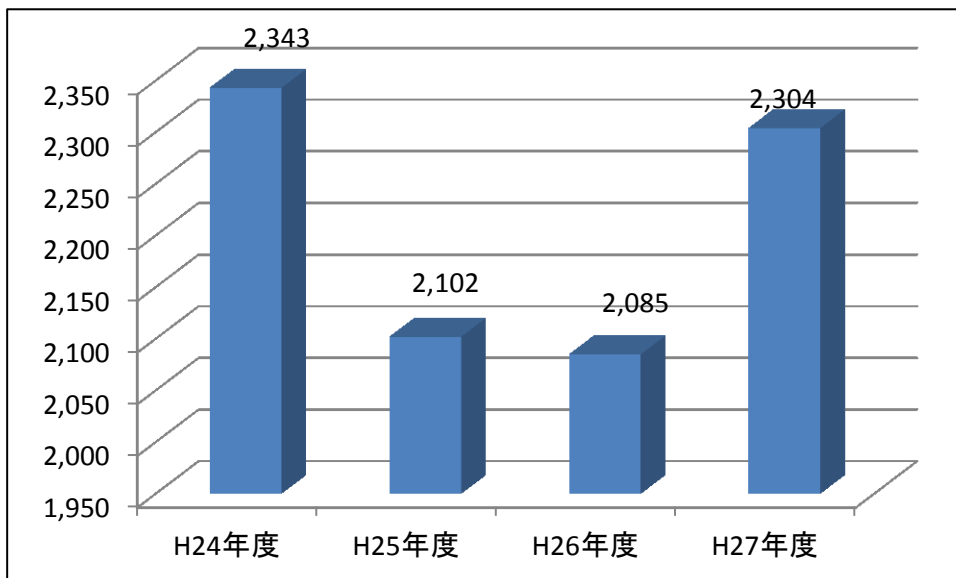
## ① 薬剤管理指導料算定件数

新しい作用機序を持つ医薬品の登場や医薬品に関わる医療事故防止の観点から薬剤師は患者様の安全対策、特に副作用及び薬害を防止することを目的に薬剤管理指導を行います。



## ② 無菌製剤処理件数

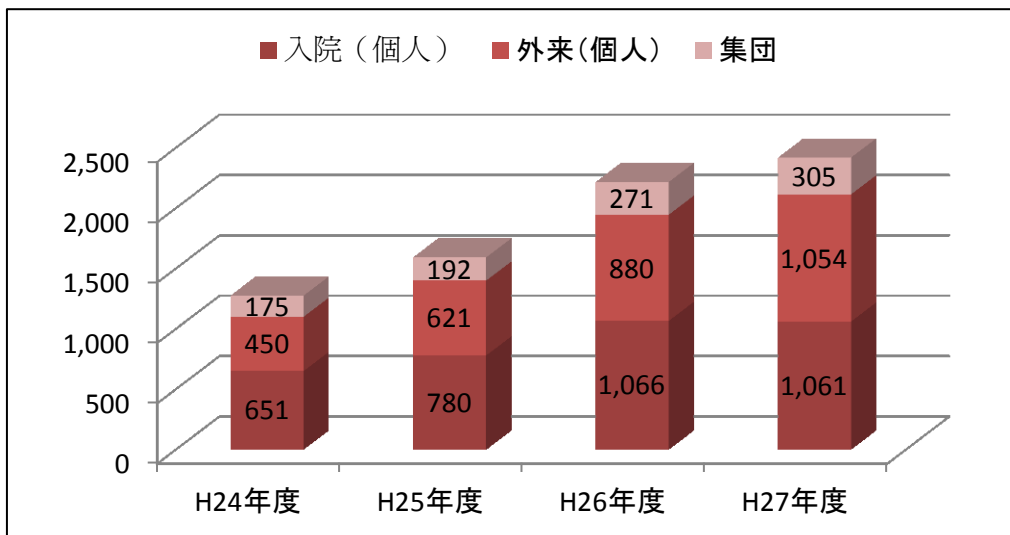
無菌製剤処理とは、無菌室、クリーンベンチ、安全キャビネット等の無菌環境において、無菌化した器具を用いて製剤処理を行うことをいいます。



## 8) 栄養管理

### ① 栄養指導件数

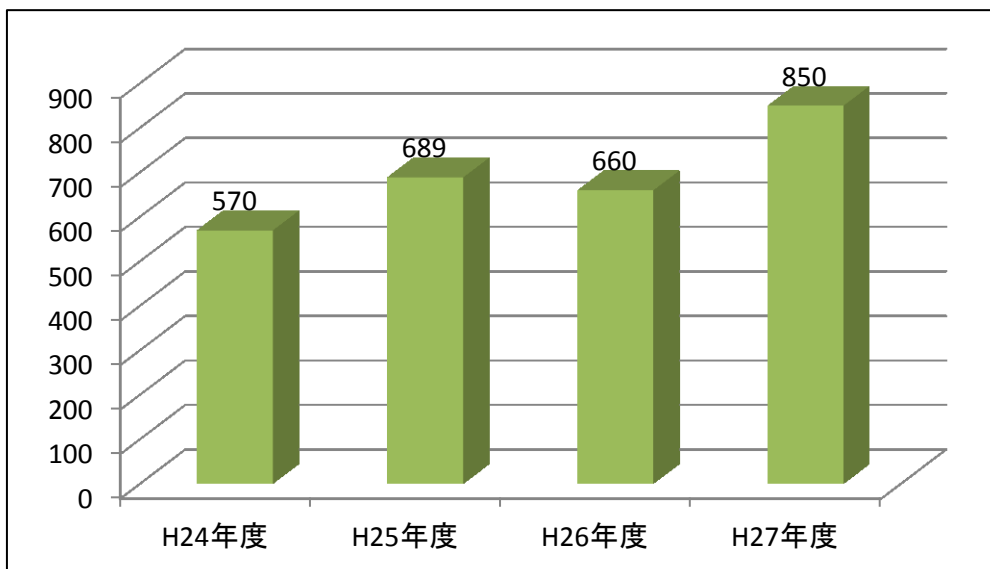
栄養指導は、患者様の栄養状態の改善のため栄養や食生活に関する教育的働きかけを行い、疾病の進行防止、回復、予後などの過程における治療の基礎的な役割を担います。



### ② NST実施症例数

NSTとは栄養支援チームの意味です。NSTの目的は医師、看護師、管理栄養士、薬剤師等がチームとなり患者様の栄養状態を改善して抵抗力や免疫力を高めて病気を治療しやすくすることです。

NST実施数は、患者様の全身管理に病院全体で取り組んでいる事を示します。



## 9) リハビリテーション

脳梗塞において早期リハビリテーションの開始が予後を左右する最も重要な時期は急性期です。

効果的なリハビリテーションを急性期の段階から毎日実施することで早期に歩行を獲得し在宅復帰への移行が可能なことについては、多くのエビデンスが学会で発表されています。

### ①脳梗塞における4日以内リハビリテーション開始率

